SOHO フェスタ新聞

三鷹 SOHO 倶楽部
チームフェスタ 2004 発行
三鷹市井の頭 1-32-2
tel&fax: 0422-71-3770

口コミによる顔の見える
SOHO を多数掲載！
三鷹 SOHO ガイド
好評発売中
税込定価：1,050 円

新たな「縁」が結ばれる場としてフェスタに期待
メインテーマは「All Together Now！」

十一月一八日（木）、一九日（金）の両日、三鷹産業プラザ七階特設会場において、第七回ＳＯＨＯフェスタ ｉｎ ＭＩＴＡＫＡが開催された。今回は会期を二日間に延長し、テーマデザイン公募と応募作展示、ＳＯＨＯオークションなど初めての企画も登場。日本各地から名うての「ＳＯＨＯ者」が集ったパネルディスカッション、恒例のＳＯＨＯ・企業展示、ビジネス講演会、ビジネスプランコンテストと盛りだくさんのフェスタとなった。

●会場の様子。一番奥が講演会や商談スペース

「垣根」なしの会場はメインテーマを体現

フェスタ当日は二日とも無情の雨。それにもかかわらず足を運んでくださった皆さんに、少しでも「来てよかった」「楽しかった」と思っていただこうと、出展者やスタッフにはいつもにまして熱が入った二日間だった。

今回はＡ会場の展示会場・講演会場・商談スペースがパーティションなしで一つながりになっており、開放感のある明るい雰囲気が好評を博した。これは「講演会に興味があっても別会場でやっていると入りにくい」という前回参加者の声を受けての工夫である。展示ブースにいながらにして講演を聞いたり、オークションに参加したりと、会場の一体感は抜群。それだけに講演を聞いている途中で来客に呼びだされて商談に入る姿も見られ、パネラーや講師の方々は、常に増して聴衆を引き込むパワーを要求されていたようである。二日目のビジネスプランコンテストは別室のＢ会場でじっくり集中してプレゼンと審査が行われた。

また三階「情報の森」では三鷹商工会が主催する「経営相談」が行われ、地下一階の「みたかショーケースｅ」もフェスタに参加。

そして、今回は新たに一階ロビーに「ＭｙＳｈｏｐ」の出店も登場し、お祭り気分を盛り上げた。

ＳＯＨＯリレーフォーラム・パネルディスカッション「独立精神で今日を拓く」
～各地のＳＯＨＯやコーディネータが三鷹に集いそれぞれの思いを語った～

三鷹のＳＯＨＯ事業者の状況と比べて、他の地域のＳＯＨＯはどうなのだろう。自分たちのまわりには目が届いても、全体の状況となるとよく分からない。ＳＯＨＯを始めるきっかけ、問題意識や志、現在直面している状況などは地域によって差があるのだろうか。それとも共通のものが多いのだろうか。今回はそんな疑問をきっかけに、日本各地からＳＯＨＯ事業者とＳＯＨＯコーディネータに手弁当で集っていただいた。

普段の地道な情報交換で培ったネットワークをもとに、三鷹に集結したパネリスト達。三鷹のＳＯＨＯと個別の交流はあっても、お互いには初対面の人がほとんど。まずは自己紹介を兼ねた活動内容の説明から始まった。

ＳＯＨＯ事業者としてスタートしたきっかけや、ＳＯＨＯという仕事の仕方への思いについて語ったのは旭川の坂本さん、金沢の西川さん、愛知県安城市の船橋さん、最近起業した八王子の池端さんの四人。

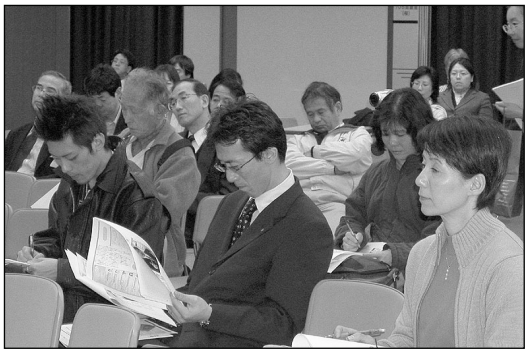
旭川の坂本さんはシステム会社で一〇年働いた後に独立。その間に身につけたスキルを利用して故郷でＳＯＨＯライフを楽しんでいる。旭川ＳＯＨＯ協議会の新代表でもある坂本さんは、「ＳＯＨＯはまったくの一人ではなく横のつながりがある」、「スキルアップにはよき仲間が必要」と気づいたという。旭川ではまだＳＯＨＯはフリーターと同じものだと思われているそうで、

●壇上のパネリスト達。笑みがこぼれる一場面も

●自分の体験を話す旭川の坂本さん

●当日参集したＳＯＨＯパネリスト。上記写真の奥から

進行	羽田野二稔	（アプリケーションプラス（株）代表）
旭川	坂本和士	（旭川ＳＯＨＯ協議会代表）
金沢	西川幸千代	（能美システムデザイン）
静岡	小出宗昭	（ＳＯＨＯしずおかインキュベーションマネージャー）
愛知	船橋正弘	（フナハシドットコム代表）
八王子	池端正志	（（有）インスティート・オブ・ビジネステクノロジー）
三鷹	河瀬謙一	（三鷹ＳＯＨＯ倶楽部代表）



●パネリストの話を熱心に聴いている来場者

じられた。

愛知県安城市の船橋さんはITコンサルタント。かわいい盛りの二児の父として子育て真っ最中で、「お気楽子育てSOHO」を自称する。生きるためや金もうけのための活動ではなく、社会に価値を還元する行動こそが「事業」の名に値すると考える船橋さんのSOHOとしての志は高い。「子供たちによい環境を作るには大人を変えなければいけない」との考えから、バリバリの企業城下街でSOHOの認知度は低い環境の中で「大人の働く会社を変えるには、新しい会社のコンサルをすればよい」と、果敢に活動中である。

八王子の池端さんは、マーケティング版経営シミュレーションゲームで起業。独立してからまだ日が浅いミドルエイジSOHOである。それだけに、「商品に自信はあるもののまったく仕事の来なかった一年目」などいまだ生々しい開業当初の悪戦苦闘と、それを打開した出会いについて語った。

SOHOを支援する立場から発言したのが、「SOHO@SHIZUOKA」の名物インキュベーションマネージャーであり、その獅子奮迅の活躍ぶりで名をとどろかせている静岡の小出さんである。

その活動内容と支援しているSOHO事業者のリストやメディア掲載記事コピー満載の資料を用意してくれた。インキュベーション施設入所者向けの支援にとどまらず、地域の産業や中小企業を巻き込んだネットワーク作りをおこなっていることを熱く語り、経営相談会やミニ講演会&交流会を開き、人を集めると同時に招いた講師も巻き込んでサポーターにしてしまう方法や、「具体的な成功事例を出せばメディアが注目し、そこからさらなる発展が生まれる」など、これまでの活動からつかみ取った貴重な話が続いた。

そして「SOHOを成功させるコツは、自分が面白い人間であると伝えることです」と多くのSOHOを支援し成功へ導いた人ならではの含蓄のある言葉も。今後はインキュベーションを利用した町おこしも視野に入れていくという。

三鷹の側からは、「SOHOでの起業は確かにたいへん。でも好きな仕事をとことんやって、ネットワークが広がる喜びもある」というまとめがあった。

今回を皮切りに、各地のSOHO同士の交流やネットワークをさらに広げたい、というところで終了。今後の展開が期待される。

そのような状況の中でも「SOHOは人間性がものをいう人気商売だ」と断言、笑顔を絶やさない強力なSOHOである。

金沢の西川さんは、東洋美術や寺社仏閣の装飾に造詣が深いCGデザイナー。仏陀の絵を多く手がけている。しっとりと落ち着いた雰囲気が印象的だ。仏陀を描くようになったのはお子さんの障害をきっかけに精神的な救いを求めたことが始まりだという。地元のSOHOにつながりを大事にし、金沢という土地に根ざした安定した働き方と暮らし方が感

初企画！　SOHOオークション
～モノもお金も大事に使おう～

起業のときには余分な支出は極力押さえたいもの。そして長くSOHOを続けていればパソコンや周辺機器、デスクまわりのバージョンアップはつきものである。「誰かの不用品は誰かのお宝」「まずはリユースの輪を」ということで初開催となったSOHOオークション。出品されたのはCD－Rドライブ、プリンタ、液晶モニタ、電話にビジネスチェア、スイッチングハブにケーブル類、モバイルPCバッグ、ビデオ、文具の伊東屋商品券など16品。最も豪華だったのは「日立プリウス」パソコン一式、なんとカードリーダーまでついているという心憎いワンセットである。変わり種では「SOHOもたまには疲れを癒さなきゃ」というわけで「大江戸温泉物語2000円券」や「東京ディズニーリゾート大人一日券」も。

●オークショニアの草間忠弘さん（右）と出品者（左）。前には出品物がずらりと並んでいる

●勢いよく手を上げる落札者

何せお初なのでオークショニアのアフロディレクターズ代表の草間さんもドキドキ。恐る恐る幕を開けてみると参加者席だけでなく出展ブースからも声がかかる大盛況。でも50円で競っていたりするところがご愛嬌である。

盛り上がったのは5500円相当のディズニーリゾート券。500円で始まるが、なんと総合司会を務める杉浦さんが3100円で落札。「これは！」とつい声が出たとか。最も高額で落札されたのは15インチ液晶モニターの6000円だった。

予定時間よりも早く終わりきっちり完売。「私も実はプリンターが欲しかった」と漏らす草間さん。満足そうに手に入れた落札者の皆さん。大切に使ってあげてくださいね！

SOHO・企業展示

ベテランも新人も企業もSOHOも同じ土俵でPR

ずっと好天が続いていたのに、フェスタの両日だけは雨。主催者にとっては、雨の中、決して駅から近いとはいえない会場まで足を運んでくれるお客さまの姿と、出展者から「手ごたえのある商談ができた」という声が聞けたのが何よりもうれしい成果だった。

今回出展したのはSOHO、SOHO関連団体、NPOが三八団体。一定規模以上の企業・団体が三団体であった。SOHOリレーフォーラムに参加した旭川SOHO協議会（旭川）やSOHO@SHIZUOKA（静岡）などのSOHO団体や、金沢、愛知から参加のSOHOによる資料展示も加えると、出展ブースの数は前回フェスタに比べほぼ倍増である。

遠方からの出展は展示ブースの要員確保が困難なためほとんどが資料展示となったが、最近三鷹のSOHOと交流を深めている八王子からの出展ブースでは、来場者に説明するSOHO事業者の姿も見られた。

八王子からの出展SOHOの一つ、ERIC THE MARKET（エリックザマーケット）は植物性のオイルのみを用いた手作りせっけんの店。普段はネット上で販売を行っている。今回の出展では、サンプルとして米の油を原料にしたせっけんを紹介。「女性だけでなく、あまり肌に気を使わない男性にも使ってみてほしい」とのこと。せっけんの正しい使い方を熱心に解説していた。

ITに限定せず、地域社会、環境、食をテーマとするSOHOも元気なのが三鷹の特徴だが、今回の出展はWebやシステム系のSOHOとデザイン系SOHOが目立って多かった。

初出展のブルー（印刷物、HP、店舗内装などのデザイン）は、「会社という枠組みにとらわれず、SOHOのよさを生かしてやっていきたい」と抱負を語った。

そしてフェスタ初の学生出展となるH.T.K.designは、東京工科大学三年生の北川さんと田中さんによる展示。スキルアップの一環としてイラストレータを使用して作成した作品を解説しながら、「いろいろな人に出会い、将来はデザインにつながるような仕事をしたい」という。

フェスタへの出展回数の多いベテランSOHO陣では、株式会社日本情報技研（理容店向け顧客管理システムを出展）、有限会社アイネット（遠隔ビジネス支援システム）、そーほっと（事務サービス）、マザーランド（リフォーム提案）、株式会社キャタリスト（デジタル・コンテンツ、研修）、などが今回も元気に出展。三鷹とその周辺のSOHOが着実に集積し、成長している様子を見せてくれた。

出展のベテランになるとこれまでの経験をふまえ、来場者へのアピールも洗練されてくる。メディカルシステム・ナガイ（医療システム）では、内視鏡が捉えた消化器のデータを管理する技術を紹介。デモで見せてもらった病変部のリアルな画像が印象的だった。

印象的といえば、会場の一角に植物を並べ「緑のなごみスペース」に変えていた有限会社イープランツと、

●来場者で賑わう展示会場

●デモをしているアイネットの藤田さん

●和みの場となっていたイープランツの展示

■出展企業・団体
東京電力株式会社多摩支店武蔵野支社
理想科学工業株式会社理想三鷹支店
「あすのまち・三鷹」推進協議会
社団法人ソフト化経済センター

■出展SOHO・関連団体
ERIC THE マーケット（エリックザマーケット）
MSW資料室
NPO法人子育てコンビニ
アドリブ
アプリケーションプラス株式会社
サービスビジネス・コンソーシアム（SBC）
（ローゼルエレクトロニクス株式会社）
セムス株式会社
デザインワークス（DesignWorks）
ブルー
マザーランド
メディカルシステム・ナガイ（株式会社スリーゼット）
株式会社アジアシナジー
株式会社キャタリスト
株式会社キャリアマム
株式会社日本情報技研
華麗堂（有限会社ビッツ&カンパニー）
NPO法人エヌピーオー・デン
有限会社EAST&WEST
有限会社アイネット
有限会社イープランツ
有限会社インフォソケット
有限会社そーほっと
ルイキャリア
NPO法人ニュースタート事務局
株式会社アイアイエス
有限会社アネシス
ビジコン
有限会社イーエス技研
smallwave
H. T. K. design
NPO法人ライバーズ協会
旭川SOHO協議会（旭川）
SOHO@SHIZUOKA（静岡）
ブルームセンター（八王子）
ベンチャー八王子（八王子）
いしかわの三工房（金沢）
0563. net NPO／NPOママネット（愛知）
三鷹SOHO倶楽部

（以上、順不同）

自由に万華鏡を覗ける万華鏡の華麗堂は、無人の展示にも関わらず独特の存在感を放っていた。

一般企業からの出展では、SOHO向けの機材の販売やサービスに力を入れている理想科学工業株式会社理想三鷹支店のブースでは、「折り姫」というA4専用の三つ折り機を出品。スイッチ一つで簡単に三つ折りができる手軽さが受け、人気を集めていた。東京電力株式会社多摩支店武蔵野支社は、今話題のIHクッキングヒーターを実演でアピール。隣のアフロ茶屋の商品のひとつ、豆乳入りスープを温めてふるまい、冷たい雨の中を訪れた来場者に喜ばれていた。

今回はNPOやコミュニティビジネスの出展参加も目立った。NPO法人子育てコンビニは子育て中のお母さんと社会や企業をつないで仕事を受注したり、お母さん向けのイベントを行う団体。特定非営利活動法人エヌピーオー・デンは、来る「長野スペシャルオリンピック」を愛犬とともに支援しようと活動中である。またNPO法人ニュースタート事務局は、ニートやひきこもりの支援を行うグループ。一言にNPOといってもその活動内容は多彩だ。子育てコンビニ代表の新堀さんに参加の感想を尋ねると、「初めて参加したけれど、楽しかった」とコメントしてくれた。

NPOではなくあえてSOHOを選択し、医療ソーシャルワーカーが相談に使う資料をインターネットで販売するMSW資料室では、二日間の出展中に4件の引き合いと1件の商談成立という吉報があり隣の出展者や仲間から祝福を受けていた。「ありがたいことにフェスタ前に送ったDMで興味を持っていただいたようです」と代表の斉藤さんは語る。

出展者にとっては、今までにない長丁場となった展示。商品やサの説明の合間にアフロ茶屋で休憩したり、出展者同士で交流したり、講演会に耳を傾けたりといった姿が見られた。皆さま、お疲れさまでした。

●来場者に説明する MSW 資料室の斉藤さん

テーマデザイン展示＆授賞

今回初めて、フェスタの統一テーマをイメージしたデザインを募集した。初めてのことで勝手がわからず、結果的にやけに短くなってしまった募集期間。

それにもかかわらず北は北海道から西は広島まで二九点の力作の応募があり、スタッフは胸をなで下ろした。

テーマデザインの審査には、SOHO CITYみたか推進協議会会長の前田正隆さんを選考委員長に迎え、武蔵野武術大学教授の小林昭世さんなどデザインの専門家も交え計六名の選考委員会で審査。

厳選な審査によって、みごと大賞を受賞した清家さんの作品は、フェスタサイトや公式パンフレット、DMだけでなく、小田急バスの中吊りポスターやフライヤーにと大活躍。さらに、二〇〇五年版の三鷹SOHOガイドの表紙も飾る予定。

大賞の受賞理由は、「SOHOが集まるイメージが上手く出ており、楽しい感じも伝わってきた。独創的できれいなだけでもなく、デジタルだけでもない感じが良い」とのこと。

大賞を受賞した清家洋二さんは懇親会での授賞式で「普段はグラフィックデザインの仕事をしていますが、こういう賞をもらったのは生まれて初めてなので本当に嬉しいです」と挨拶した。

なお、会期中、フェスタ会場で全ての応募作品が、その制作意図とともに展示され、来場者の目を楽しませた。

●応募作品の展示風景

●大賞の清家さん

●大賞作品による小田急バス中吊りポスター（大）と公式パンフレット（小）

●受賞者一覧

●大賞

清家洋二（東京都）

●フェスタ賞

河合勇佑（東京都）

杜田利香（兵庫県）

河野　健（北海道）

杉山　浩（静岡県）

前嶋信行（東京都）

●審査員特別賞

久嶋祐太（北海道）

堀江　豊（広島県）

（敬称略）

SOHO CITYみたか構想

ビジネスプランコンテスト２００４

～各賞受賞者決定～

●ビジネスプランコンテスト受賞者

最優秀賞受賞者には賞金一〇〇万円！　三鷹在住・在勤者に限らず、しかも三鷹での起業も条件とせず、斬新なビジネスを支援する太っ腹なビジネスプランコンテスト。今回も予選通過者によるプレゼンと最終審査が、フェスタB会場にて行われた。一二人の審査員からは、次々に鋭い質問が。この試練を乗り越えてみごと受賞を勝ち取ったのは…

＊＊＊＊＊

最優秀賞（賞金一〇〇万円）を受賞したのは、港区の株式会社アイ・シー・エージェンシーの秋山裕之さんが発表した「総合音楽ライセンス・エージェント」。音楽等のコンテンツが本格的にネット配信される時代に向けて、アーティスト等の権利所有者に代わって権利全てを総合管理するエージェント事業である。音楽流通のシステムが大きく変わる時代に、空白状態になったままの領域に着目、ビジネスを構築しようという斬新さが評価された。

地域貢献賞（賞金一〇万円）は三鷹市在住の斎藤寿美子さんの「オリジナルハンドメイドランジェリーの製作とネット販売」と、武蔵野市在住の浅田さかえさんの「個人企業や商店向け販促映像作成、家族のメモリアル映像作成」が受賞。斎藤さんはアトピー性皮膚炎で下着選びに苦労した経験から、アトピーや性的同一性障害の人などのマイノリティのために快適で美しい下着作りを目指す。浅田さんのプランは、一連の作業を一人で担当することでコストを抑え、個人や一般家庭、小規模事業者を対象に従来の一〇分の一程度の予算で映像制作を請け負うビジネスを提案した。いずれもSOHOならではの「個」へのきめこまかな対応が核となるビジネスである。

三鷹市しんきん協議会賞（賞金二〇万円）は、三鷹市のテーラーサクライ有限会社の「思い出のウェディングスーツに活躍の場を」が受賞。オーダースーツ専門店ならではの技術のノウハウを生かし、あらかじめ普通のスーツに仕立て直し可能なウェディングスーツを作るというものだ。すでに現実のビジネスとして動き始めているプランである。

前回空席だった学生ベンチャー賞（賞金二〇万円）は、法政大学の学生・小林哲之さんのプラン・子供たちの会員制集団遊びの場「Ｊａｍ Ｋｉｄｓ」が受賞した。

やっぱりお祭りには出店でしょう！ 一階「Ｍｙ Ｓｈｏｐ」

まっさきにお客様をお迎えしたのは、一階ロビーの受付と「Ｍｙ Ｓｈｏｐ」のグッズ。普段は同じ一階で店舗販売中。フェスタにあわせてのワゴン出店でお祭り気分を盛り上げてくれた。

しかも当日会場でアンケートに答えた人には、抽選で一〇名様に「ＭＹ ＳＨＯＰ」提供のグッズが当たるというおまけつきである。

●特別出店のＭＹ ＳＨＯＰ

三鷹商工会経営相談会スペシャル 三階「みたか交流センター情報の森」

専門家の相談が無料で受けられる経営相談会を、企業を目指す人向けに三鷹商工会が開催。毎月第三木曜日には、法律、登記、税務、労務、取引など経営全般の相談会を行っており、そのフェスタ版である。ＳＯＨＯは一人で決断を迫られがちだが、一人で悩むよりもここで専門家の知恵を借りてしまおう。

「あすのまち・三鷹」推進協議会 地階「みたかショーケースｅ」

インターネット学習システムや食事介助ロボット、住宅セキュリティシステムなど、三鷹に集った企業の最新技術を展示。来る一月二一日に産業プラザで行われる「あすのまち・三鷹」フェア二〇〇五の告知も行なった。

ご好評に応えて再登場！ 和みのスペース・アフロ茶屋

三鷹でアフロといえば、みたかモールを運営する有限会社アフロディレクターズの草間忠弘さんのこと。

今回のフェスタにも草間さんを店長に、みたかモール各店の誇る品々を販売、おいしいコーヒーが楽しめるアフロ茶屋がいっそうパワーアップして帰ってきた。店員は全員アフロ。赤アフロと青アフロがあり、油断していると客もアフロになって写真を撮られてしまう一幕も。ちなみに草間さんのアフロは地毛である。

フェスタ展示や、講演会、ビジネスプランコンテストの合間に、コーヒー片手にほっと一息いれる人たちでにぎわっていた。

●アフロ茶屋の店長草間さん（写真右）

ビジネス講演会一（ワン）・二（トウ）・三（スリー）

「私にとって仕事って何？」を考える、よりぬきの三講座

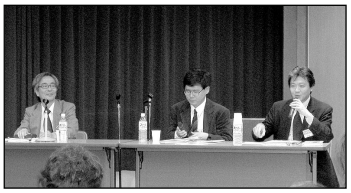
ＳＯＨＯとして起業をした人、ＳＯＨＯという生き方に惹かれる人が必ず突き当たり、そして自分なりの答えを出していくのが「自分らしい働き方」かもしれない。今回のビジネス講演会は初心に帰り、これからＳＯＨＯを目指す人、ＳＯＨＯなんだけれどこれでよかったんだっけ？と悩んでいる人向けに「働き方」「人とのつながり方」を考える講演会を三つ企画した。

初日の一八日、ビジネス講演会の皮切りは、三鷹のＳＯＨＯコーディネータの一人でもあり、ＳＯＨＯの大先輩である株式会社キャリアマム代表取締役・堤香苗さんの「エラー＆コレクト～これが私の生きる道～」である。出産し仕事から離れていた堤さんを動かしたのは、孤立している母親たちの姿と「自分と違う人間とコミュニケーションをとろうとしない」子供たちの姿だった。何とかしなきゃ、と作った母親たちのネットワークがビジネスに。けして平坦ではない道のりを持ち前のパワーで乗り切ってきた経緯を包み隠さずに語った。「起業には自分の思いを形にすることが必要」「始めることは難しくない、大変なのは続けること」という堤さんの言葉は説得力があった。

翌一九日、「会社以外の働きの場～役割を見つけ仕事を作り出す世代への期待」は、「引きこもり」の問題に取り組むＮＰＯ法人ニュースタート事務局の田尾宏文さんの基調報告と、東大学総合文化研究科助教授・福島真人さん、アプリケーションプラス株式会社の羽田野二稔さんをパネリストにパネルディスカッションが行われた。就職しない若者、引きこもりの若者の姿を通して、「働くということ」と個人の成長や人間関係とのかかわりが逆照射されてくる。三鷹で若者を支援しているＮＰＯからの質疑応答もあった。

講演会のトリをつとめたのは、融資を受けにくい女性のための「銀行」ＷＷＢ/ジャパン事務局長・奥谷京子さん。ビジネススクールも開催しており、参加者の二割が地域で起業して地元の活性化に貢献している。ネットを使ったビジネスの実例を紹介しながら、ネットワークを作るうえでの「情報のシェア」の重要性を指摘した。

●キャリアマムの堤さん



●ニュースタートの田尾さん（左）、東京大学助教授の福島さん他

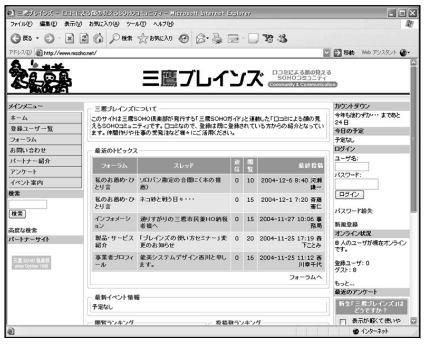
●ＷＷＢの奥谷さん

●オープンスペースの会場の様子

一緒に働いていくにはただ仲良しなだけでは成り立たない。チームを組み相手のことを相手以上に知ろうとする努力、そして自分から仕事の状況を情報発信して行くことが大事である。ユニークだったのは「そのときどきの自分のキャパシティを踏まえて仲間に自己申告し、足りない分を手伝ってもらう。自分に元気があるときは相手を手伝う」という考え方。抱え込まず・甘えず、よいチームの仕事関係を作るグッド・ポイントかもしれない。

以上、三つの講演会は、オープンスペースの会場で開催されたため、ポイントだけ立ち見に行く人たちの姿も散見された。それでもテーマごとに聴衆の顔ぶれや雰囲気が違っており、講演のダイナミズムを感じさせた。

新生！三鷹ブレインズ ～今話題のＸＯＯＰＳでつくっちゃいました



●XOOPS で構築した新生三鷹ブレインズ

三鷹ＳＯＨＯガイドのインターネット版、そしてメンバーが自由に情報発信できるネットコミュニティとして好評の「三鷹ブレインズ」。ちょうどオープンソースＸＯＯＰＳ研究会をしていたメンバーが「これはブレインズに使えるかも」と思いついたのが発端となり、フェスタの開催に合わせてカスタマイズとお引越しを完了。

ＸＯＯＰＳのすごいところは、これまで数十万以上していたシステムが無料で使えるところ。サーバを借りても年間二万円でおつりが来る。ただし、システムをカスタマイズする費用は入っていない。

さらにすごいところは、オープンソースなので世界中に開発者がいるところ。どういうことかというと「こういう機能があったら良いなぁ」と思っていると、運が良ければ一～二週間でそのプログラムが配布されることもある。同様にこれがあったら便利じゃないかと考えた人が開発して配布しているのだろう。

ちなみに十一月二六日には「ブレインズの使い方」講習会が開催された。

新生三鷹ブレインズを今後ともよろしく！

●新生三鷹ブレインズ
http://www.msoho.net/
●ＸＯＯＰＳ日本公式サイト
http://jp.xoops.org/

取材編集協力：杉澤竜也（東京工科大学メディア学部）、河合勇佑（東京工科大学メディア学部）、永澤結子（東京造形大学造形学部）